



広報 ひこね

2005 11/1

特集 中心市街地活性化

大正のロマン漂う

新しいまち、 できました



まち開きを迎える四番町スクエア

8	はーとふるメッセージ 2004	特選作品 紹介 第6回	11	11月14日～25日は 事業系粗大ごみを搬入できません
9	開催の お知らせ	卓 喜 真 嗣	13	11月13日 彦根シティマラソン 交通規制にご協力ください
11	一般競争入札で 市有地を売却します		16	 クロスワードクイズ



- 1. 人権が尊重され、誰(だれ)もが安心して暮らせる福祉のまちづくり
- 2. 良好な環境が整った、快適で安全・安心なまちづくり
- 3. 活力ある産業に満ちた、にぎわいあふれるまちづくり
- 4. 明日の彦根市を担う人を育(はくく)むまちづくり
- 5. 人とひととの交流をひろげ、市民文化を創造するまちづくり



大正のロマン漂う 新しいまちが できまわした

中心市街地活性化計画

「四番町スクエア」は、夢京橋キヤッスルロードから銀座街へ行く途中にあります。かつて市場商店街と呼ばれたこの通り沿いには、生鮮食料品や、惣菜などの店が数多く軒を連ねていました。

しかし、多くの人が自動車で買い物に行くようになり、大規模な駐車場を備えた郊外型の大型量販店やス

ーパーができるにしたがい、ほかの商店街と同じように、市場商店街も賑わいを失い、閉じられた店のシャッターが目立つまちとなっていました。

このようななかで、彦根市と彦根商工会議所が中心となって、「彦根市中心市街地再生事業委員会」が組織され、平成9年に「彦根市中心市街地まちづくり構想(魅惑のまちづくり)」が策定されました。さらに、平成11年には、「彦根市中心市街地

活性化基本計画」を策定し、四番町スクエアを含め12の商店街がある、いわゆる旧市街地を、彦根市の中心市街地の区域とし、商業・都市基盤の整備を計画しました。

市場商店街から 四番町スクエアへ

平成9年、このような町の状況に危機感を持った地元の商店主が中心となって、新たなまちづくりを考え

る「櫛(くし)の会」が作られました。

彦根市はこの地域に「街なか再生 土地区画整理事業」を実施することを決定しました。

また、新しいまちの愛称は、公募によって、かつての賑わいを取り戻すという願いをこめて、以前の町名である四番町にちなみ、「四番町スクエア」としました。

大正ロマンの漂うまち

「四番町スクエア」は、まちなみのイメージを「大正ロマン」に統一しています。これは「四番町スクエア」の前身である市場商店街が始まった大正時代のまちなみを再現したもので、朱色の街灯や、黄色い壁の

建物がレトロな雰囲気を醸し出しています。城下町の風情が感じられるお隣の夢京橋キヤッスルロードとはまた違った魅力あるまちなみです。「四番町スクエア」には、観光や商店街など彦根市についてのさまざまな情報を発信する「ひこね街なかプラザ」があります。また、集客の核となる「食」のテーマ館を、来年春のオープンに向けて建設中です。これらの施設を管理する株式会社四番町スクエアと四番町スクエア協同組合では、まち全体を活用した賑わいのイベントを行います。

問い合わせ先 商工課 30161
19番、 都市計画課 30161
24番、 FAX 2211398番

四番町スクエアへぜひお越しください

彦根四番町スクエア協同組合 田部益男さん



平成11年にスタートした、土地区画整理事業により、旧市場商店街は、「四番町スクエア」として生まれ変わりました。「四番町スクエア」は、明治・大正期を思わせる建物が建ち並び、大正ロマンあふれるまちです。ここでは商店や飲食店のほか、パティオという小さな広場や、一風変わったせせらぎなど、さまざまな仕掛けが、訪れた人々を迎えます。また世界で初めて、「脳にやさしい音の街づくり」というユニークな取り組みも始めます。

しかし、ここまでくるには大きな苦労もありました。

平成10年に作られた法律によって、もっと大きな規模でなくてはできなかった、土地区画整理事業の対象になることができました。再生の青写真が現実に向かって大きな一歩を踏み出した瞬間でした。行政から支出されるお金は必要最低限です。そ

ここで私たちは自分たちでお金を出し合って、植栽の柳の木や、遊び心たっぷりの水溜まりなど、まちのイメージを良くする仕掛け作りを進めました。「四番町スクエア」はほぼ完成し、11月4日にはまちびらきを迎えます。しかしまちびらきはゴールではなく、新たなスタートです。旧市場商店街は大正時代から約80年もの間発展を続けました。「四番町スクエア」もそれ以上に渡って人々に賑わいの場所となるように私たちも努力しなくてはなりません。みなさんもぜひ「四番町スクエア」にお越しください。

彦根市の新しい顔
四番町スクエアはこんなまちです

四番町スクエアには訪れた人を楽しませる、さまざまな施設や工夫があります。ここでは四番町スクエアの建物や街並み、またそこで行われる事業の一部を紹介いたします。

「食」のテーマ館
(仮称 四番町ダイニング)

「近江・彦根の食文化」をテーマに「食」が持つ歴史や文化のほか、彦根市の気候、風土が育んだ素材などを紹介するスペースを作ります。また、これらの「食」を味わったり、買い求めることができる店舗もできる予定です。

パティオ

賑わいを作り出すためには、その中心となる場所が必要です。そこでまちの一部に「パティオ」という小さな広場を設けました。パティオの周囲には、様々な店が軒を連ね、賑わいを演出します。



パティオの完成予想図

四番町ダイニング(仮称)の完成予想図

ひこね街なかプラザ

観光や商店街など、さまざまな情報を発信する施設です。案内コーナーやミニギャラリーのほか、エフエムひこねコミュニティ放送のスタジオがあります。また、2階にあるキッチンスタジオでは、まちびらきイベントとして、「大名の日常食を試しよう」が開催されます。

路地

四番町スクエアの中にはいくつかの路地があります。通常の土地区画整理事業の制度では建設できない、幅3mのこの路地は、かつての市場商店街における店とお客、あるいは店同士の親密さと、商店街の雑多な雰囲気を再び呼び戻すために作られました。



「脳に優しいまちづくり」プロジェクト



「脳にやさしいまちづくり」プロジェクトは、人の耳には聞こえないハイパーソニックサウンドと呼ばれる超高周波域の環境音を使って、人間の脳を活性化させるという、世界でも初めての試みです。

プロジェクトでは、実際に熱帯雨林で収集した鳥の声や、水の音を使って作られた音楽を、ひこね街なかプラザ内の「ハイパーソニックサウンドギャラリー」から流します。パティオ周辺とひこね街なかプラザの前のスペースは、この音楽を体験できる「脳にやさしい音の空間」になっています。

四番町スクエアからお伝えします

エフエムひこねコミュニティ放送 飯田ひふ美さん

ひこね街なかプラザの中にある、“STUDIO J・SQUARE”で、パーソナリティーとして彦根の情報をお伝えしています。

四番町スクエアは、まち全体が新しくなった一方で、昔ながらの商店もあって、お店の人と話しながら買い物をする楽しさが体験できます。懐かしい彦根と、新しい彦根が、うまく共存しているように感じます。

私たちは、これからも四番町スクエアのなかから、お店やまちの情報を発信していこうと思っています。



四番町スクエアでのラジオ放送

まちびらき記念祭 開催!

大正ロマンのまちには、脳に優しい音楽が流れ、風に柳がそよぎ、小さなせせらぎが流れます。四番町スクエアのまちびらきに、ぜひお越し下さい。

11月4日(金)

- 10:00~ 四番町スクエア隆盛祈願祭
- 10:00~ 昔懐かしいちんどん屋さんのパレード

同5日(土)

- 13:00~、15:00~ 街角大道芸による演芸披露
- 13:30~ 大名の日常食を試食しよう
- 17:00~ パティオdeコンサート

同6日(日)

- 10:00~ ひこね四番町フリーマーケット
- 13:30~ 街角コンサート

問い合わせ先 株式会社四番町スクエア
☎27-7755、FAX27-7766



中心市街地に新しい情報発信基地
花しようぶ通り商店街に「街の駅」

花しようぶ通り商店街に「街の駅」がオープンしました。「街の駅」とは、地域の人や観光客などだれもが利用できる場所です。

築後約250年経つ古民家を利用して、陶芸教室や、手作り甲冑講座、小学生を対象とした学習教室など、ユニークな取り組みが行われます。また、訪れるすべての人に対して、まちの歴史や文化、観光などの情報を発信します。

「街の駅」は、地域の人たちとNPO法人「彦根景観フォーラム」が協力して運営していきます。問い合わせ先 ひこね「街の駅」2712810番

「街の駅」で彦根を知ろう

滋賀大学大学院1年 大浜麻紀子さん

「街の駅」で、週に2回、「花しようぶ学舎」という教室を開いて、主に地域の小・中学生を対象に、ボランティアで勉強を教えています。現在は、学校の宿題を指導しているほか、カラムなどのゲームもしています。



今後、参加者がもっと増えれば、外に出かけて、子どもたちといっしょに、地域の歴史や文化などについて勉強したいと思っています。「街の駅」では、子どもだけでなく、大人も楽しめる講座なども開催しています。まだ始まったばかりですが、「街の駅」を市民の皆さんに知ってもらい、訪れた人が自分のまちについて興味や関心を持つきっかけとなるよう、情報を発信できるといいと思います。






施設だより


ひこね市文化プラザ ☎26-8601 FAX 26-8602
11月の休館日：7月・14月・21月・28月

18日(日) 14:00~
第8回 ひこね市民手づくり第九演奏会
 指揮：井崎正浩(写真)
 自由 前売1,500円
 (当日2,000円)
 【好評発売中】



毎年レベルアップするこの演奏会。10月に始まった井崎先生の指導にも熱が入っています。今年はどんな仕上がりをみせるのか。本番の演奏にご期待ください。

27日(金) 18:30~
劇団四季 ミュージカル
「クレイジー・フォー・ユー」
 ☆「オペラ座の怪人」、「キャッツ」、「ライオンキング」に並ぶ劇団四季の代表作!!



S席8,400円
 指定 A席6,300円
 B席5,250円
 【好評発売中】

マーク：託児サービスがあります。(要予約)
 マーク：公演終了後、彦根駅行き・南彦根駅行きの臨時バスの便があります。

チケットのお申し込み、お問い合わせは
チケットセンター ☎27-5200

子どもセンター ☎28-3645 FAX 28-3645
11月の休館日：4金・7月・14月・21月・24木・28月

25日(金) 19:00~21:30 【悪天候の場合26日(土)】
第5回 天体観望祭「星の雲の外」
 -まばらな星空の向こうを見よう!!-

☆30cm天体望遠鏡やプラネタリアムなどを使い、「まばらな秋の星空」に隠れている重星や星雲・星団の観望と、「ペガサスの四辺形」からたどる秋の星座探しを行います。
 ☆参加費：300円(小学3年生以下は無料)
 ※開催当日、16:30以降に開催の有無をお問い合わせのうえご来館ください。

募集


子どもスタジオ・ラボ7
「センサーロボットを作ろう」

○日時：12月11日(日) 9:30~12:30
 ○内容：工作の楽しさや喜びを味わうとともに、「工夫する知恵」や「物の原理」を体験する機会として、電池で動き、音に反応する「センサー付ロボット」を作ります。
 ○対象・定員：小学4~中学生とその保護者 18組(先着順)
 ○受講料：1,890円
 ○申込方法：所定の申込用紙(子どもセンターにあります。)に必要事項を書いて、受講料を添えて子どもセンター窓口へ。※電話による申込は不可
 ○申込期間：11月5日(土)~20日(日) 8:30~17:00
 ※定員になりしだい締め切ります。
 ※11月7日(月)・14日(月)は受け付けできません。

彦根城博物館 ☎22-6100 FAX 22-6520
11月29日(火)~12月1日(木)は展示替えのため、展示室を一部閉室しています。

開館時間 8:30~17:00(入館は16:30まで)

~11月29日(火)
「彦根の食文化」
 地元の素材を使った食事や贈答品を通じて、江戸時代彦根の豊かな食文化を紹介します。



▲直憲様御膳帳


◎伝統の銘菓「益寿糖」の特別提供◎
 テーマ展「彦根の食文化」開催期間限定(~11月29日)
 江戸時代から彦根で作られ、藩主も食し、贈答にも使われた彦根の銘菓「益寿糖」を博物館のお茶席でご賞味いただけます。
 ■料金：500円(薄茶込み)《観覧料が必要です》
 ※限定品につき品切れの際はご了承ください。

12月2日(金)~22日(木)
「中国故事人物のすがた」
 陶淵明(とうえんめい)や林和靖(りんわせい)など、江戸時代の絵画や工芸品の中にあられる中国故事人物を紹介します。

観覧料が必要です
 ギャラリートーク「中国故事人物のすがた」
 12月3日(土) 14:00~15:00
 ※事前申し込みは不要です。当日館内講堂にお集まりください。
 解説：本館学芸員 高本文恵(たかき ふみえ)

聴講無料
 講座「義経の鎧と井伊の赤備え—甲冑の形態の変遷—」
 11月26日(土) 14:00~15:30 会場：本館講堂にて
 講師：本館学芸員 坪内広子(つぼうちひろこ)

~11月29日(火)
厚板 白地青海波に草花など入り扇散らし文様
 草花や文様をおさめた扇面を散らす華麗な能装束。




▲厚板

11月30日(水)~12月21日(水)
重要文化財 侍中由緒帳
 彦根藩士すべての由緒、経歴を記した台帳。

市民体育センター ☎23-2293 FAX 23-2294
11月の休館日：1火・4金・8火・15火・22火・24木・29火

20日(日) 13:30~16:00
フレッシュスポーツデー
 ☆内容：スポーツの秋!!いい汗流してみませんか? だれでもできるニュースポーツを紹介します。
 ☆予定種目：ダブルダッチ ファミリー・バドミントン ディスコ(写真)ほか
 ☆参加費：小学生以上1人200円(当日、受付でお支払いください。)
 ※運動のできる服装で、体育館シューズを持ってご参加ください。



とまきの玉手箱

博物館からのメッセージ



第111回

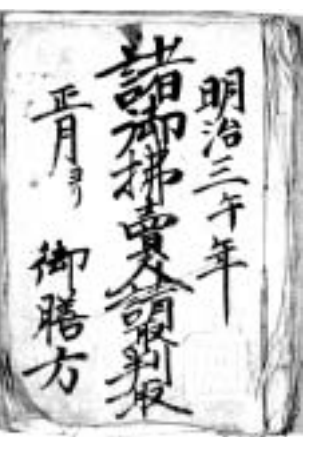
彦根名産・赤かぶら漬の系譜

彦根の冬の特産品に赤かぶら漬があり、赤かぶらの漬物は江戸時代から彦根で作られていました。その産地は小泉村(現・小泉町)。濃い紅色で長さ10cmあまりの下ぶくれ型をしており、「小泉かぶら」と呼ばれて親しまれていました。この紅かぶら漬の成立には次のような伝承が残っています。

江戸時代中ごろ、小泉村の者が彦根城の庭園の手入れをしていた時に、庭の隅に、葉は淡紅色で根は濃紅色のかぶら

を見つけた。藩主に申し出たところ、藩主は喜んで、その種を取って栽培するよう命じた。そこでできたかぶらを漬物にして藩主に献上したところ、「結構なる漬物なり、今より小泉紅かぶらと名付けて当地の名産とするように」と、漬物にして普及するよう奨励したといふ。

この話は地元には伝わるものですが、実際、小泉かぶらが彦根城に納められていたことも確認できません。藩主が暮らした彦根城表御殿で料理を担当していた「御膳方」の食材代金支払い記録によると、明治3年11月に、小泉村の新七という者が赤かぶら200本を納めています。これだけの量を一度に買い入れるのは、漬物にするためでした。御膳方では、普段食べる漬物を漬けており、赤かぶらはぬか漬にされました。御殿で使う野菜は、基本的に城下の八百屋が納めることになっていましたが、漬物にする大量の野菜は生産した村から直接買っていたのです。明治維新を迎えた時期の史料ですが、御殿には彦根藩知事の井伊直憲や正室の官子(みぎこ)が住んでおり、食事の準備は江戸時代そのままといえます。実は、新七は普段から御殿に勤め、御



御膳方判取帳 (彦根城博物館所蔵)



この話は地元には伝わるものですが、実際、小泉かぶらが彦根城に納められていたことも確認できません。藩主が暮らした彦根城表御殿で料理を担当していた「御膳方」の食材代金支払い記録によると、明治3年11月に、小泉村の新七という者が赤かぶら200本を納めています。これだけの量を一度に買い入れるのは、漬物にするためでした。御膳方では、普段食べる漬物を漬けており、赤かぶらはぬか漬にされました。御殿で使う野菜は、基本的に城下の八百屋が納めることになっていましたが、漬物にする大量の野菜は生産した村から直接買っていたのです。明治維新を迎えた時期の史料ですが、御殿には彦根藩知事の井伊直憲や正室の官子(みぎこ)が住んでおり、食事の準備は江戸時代そのままといえます。実は、新七は普段から御殿に勤め、御

写真の史料は、彦根城博物館テーマ展「彦根の食文化」(11月29日まで)で展示しています。

(彦根城博物館 野田浩子)

グリーンピアひこね しめなわ作り教室

内容 わらを使って、お正月に飾る素朴なしめなわ(玄関用のもの、従来型とリース型)を作ります 日時 12月27日 9:30~11:30 場所 グリーンピアひこね(清崎町) 受講料 200円 教材費 従来型300円、リース型500円 定員 30人(先着順) 申込期間 11月4日~22日 の8:30~17:00(土・日曜日は除く) 申込方法・問い合わせ先 グリーンピアひこね(25-3909)の窓口で申し込んでください

彦根市キッズ(小学生)ハンドボール教室

対象 市内か近隣の市町に住む小学1~6年生 練習日時 11月3日(木・祝)、同13日、同20日、同27日、12月4日・同11日・同18日・平成17年2月5日・同12日 の9:30~11:30 場所 プリヂストン体育館(高宮町)名古屋遠征 2月19日 費用 参加料3,000円とスポーツ安全保険料500円(保険料は未加入の人のみ) 申込方法・問い合わせ先 電話かファクスで名前、学年、連絡先を彦根市ハンドボール協会(前川方) 22-1065(FAX共用)へ

日本語ブラッシュアップ講座

内容 日本語を学ぶ外国人とともに「日本語」についてワークショップ形式で考えます。テーマは「日本語はおもしろい」「どこが変なの?この敬語」対象 日本語を母国語とする人、日本語を学習している外国人(中・上級レベル) 日時 11月27日 14:00~16:00 場所 彦根市民会館 申込方法・問い合わせ先 名前、住所、電話番号を「にほんご滋賀」(富川方) 23-7833(FAX共)へ。昼間の電話の時は、留守番電話のメッセージで申し込んでください



昭和31年、薩摩町で(浅岡利三郎さん撮影)

古写真展 観覧無料
昭和30年代の彦根と子どもたち

高度経済成長で変わり始めた彦根の風景と、元気に暮らしていた子どもたちの姿を振り返ります。

会場と日時
《稲枝地区体育館》11月5日~6日 9:00~16:00(6日は~15:00)
《市立図書館》11月10日~20日(14日は休み) 10:00~18:00
《市役所1階ロビー》11月28日~12月2日 8:30~17:15

問い合わせ先 教育委員会市史編さん室 27-3544、FAX27-3554

自衛隊生徒

応募資格 日本国籍を有し、平成18年4月1日現在で15歳以上17歳未満の男子で、中学校卒業者(平成18年3月卒業見込みを含む) 受付期間 11月1日~平成18年1月10日 一次試験日 平成18年1月14日 応募・問い合わせ先 自衛隊彦根募集事務所(旭町) 26-0587

就職サクセスセミナー

内容 パソコン講座を主な内容とした就職準備講習会 日時 11月29日~12月2日 9:00~16:00 場所 彦根勤労福祉会館(大東町) 対象 求職活動中で全日程に参加できる人(学生を除く) 定員 20人 受講料 無料 申込期限 11月24日 15:00必着 申込・問い合わせ先 滋賀県雇用対策協会 077-566-7420、FAX077-566-7590

再就職を目指すシニアのための警備技能講習会

日時 11月28日~12月2日(5日間)の13:00~16:30 最終日には、ハローワークと合同で面接会を開催 場所 滋賀県シルバー人材センター連合会セミナー室(大津市京町三丁目 英貴ビル) 対象 55歳以上68歳までの人 定員 20人(申込者多数の場合は抽選) 受講料 無料、教材は支給 申込期限 11月17日(必着) 申込方法・問い合わせ先 往復はがき往信の裏に講習名(警備)、住所、氏名(ふりがな)、年齢(生年月日)、電話番号を書いて 滋賀県シルバー人材センター連合会(〒520-0051 大津市梅林一丁目3-10) 077-525-4128、FAX077-527-9490へ

有形民俗文化財 民具 等の展示 「民具にみる地域の暮らし」

湖の暮らし 観覧無料

内容 かつてびわ湖の漁業に使われた民具を展示 日時 11月11日~15日 9:00~16:00(15日は~15:00) 場所 八坂町民会館(八坂町) 下図参照 (駐車場は多景公園駐車場を利用してください)

入場料 無料
問い合わせ先 教育委員会 文化財課 26-5833 FAX26-5899



私、今年の夏、初めて人の死というものを知った。それは九州の祖父の家へ来ていた時の事だった。
「さんの様子がおかしいです。すぐに病院へ来てください。」
私たちはすぐさま病院へ向かっていた。そこには、苦しみがもがいている曾祖母が病室に横たわっていた。その姿はたくさんの管につながれ、息をするのもまともにできず、必死にナースコールへと手を伸ばしている状態だった。曾祖母にとって、一生の中で一番の苦しみだったのかもしれない。見ている私もつらく、苦しくなり、何もできない。

曾祖母の死から
作文・中学生の部
廣瀬 葵さん
(河瀬中学校2年)
学年は応募時のものです

長い苦しみの後、午後五時二十分、曾祖母は息をひきとった。祖母と母、妹と私に囲まれながら。私たちは、ただただ泣いた。もう、あの笑った顔を見ることはできないのだ。もう二度とあの声を聞くことはできないのだと思うと、あふれ出る涙をどうしても止めることはできなかった。どうして人は死んだら魂だけ持って行かれてしまうのだろうか。身体ごと奪ってくれたら少しはあきらめがつくのに、と今までとちつとも変わらない曾祖母の顔を見てしきりにそう思った。言葉ではうまく表現できないが、どこか、どう変わってしまったんだろう。今までどこかどう違って、かえらぬ人になつてしまつたんだろうと心底思つた。しかし、曾祖母にとっては、苦しみから解放され、楽になれてうれしかったのだらう。安楽死もせず、最後まで病氣と戦い続けたその顔は、安らかにどこか寂しく、どこか立派に見えた。

「は」とふるメッセージ2005」作品を募集中です
翌日、通夜式が行われた。曾祖母を棺桶に入れ、親せき全員で無事に成仏できるよつと、白い服をかぶせ、たひをはかせ、手にはしゅずを持たせた。曾祖母の好きだったおかしや遺品も入れた。通夜の時はただ黙ってお経を聞いていた。その中には、一つだけ、とても心に残る話があった。それは、「人は朝、笑っていて、夜は骨になつていくかもしれない。」という言葉だった。それほど人間は虚しい生き物なのか、と思つと同時に、このように死をどこまでも悲しんでくれるたくさんの人に集まつてもらえるのだから、人間、

鏡見て
自分の心
衣装替え

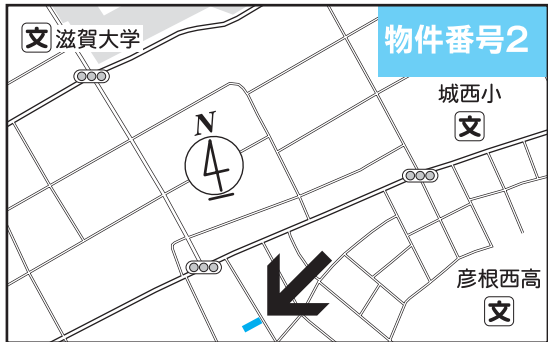
標語・一般の部
大田喜久夫さん
(松下電工(株)彦根工場)

選評
曾祖母の死の瞬間に立ち会つという体験に心を揺さぶられ、大切な人が死んでいくということ、そして、生きるということについて真摯に向き合い自らの目線で問い直しています。人とかかわり、優しく接することによって、人々の心の中に生きて証を残すことができるという思いは、人が人とかかわり合いながら生きることの責感を強く感じさせてくれます。

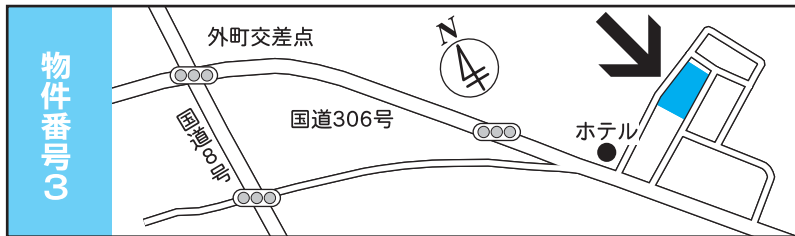
「は」とふるメッセージ2005」作品を募集中です
どのようない生を送つたとしても、そこに生きて証しは残る、生きた間にかかわつた人達の心にその存在は残ることが出来る恵まれた生き物なのかと、複雑な思いに包まれた。
八月十八日、葬儀式が行われた。午後一時から始まつた式には、前日に増して人が集まつた。この日はフルート演奏もあり、そのメロディにのせ、私達の思いを司会者が読みあげた。たくさんのすすり泣きの声が聞こえた。この方が居なければ、今の自分はいないのだと、心の中でつぶやいた。

この夏は、私にたくさんの事を教えてくれた。そして、たくさんの感情を覚えさせてくれた。ただでさえ身内の死は初めてだったので、自分の目で実際に人の死ぬところを見るのは、シヨックが大きすぎた。しかし、一つだけ、ずっと気になつてきたあることが分かった。それは、人間、死んだらどこに行つてしまつたのか。その答えはきつことうだ。その人が、かかわり、優しく接してあげたすべての人々の心の中で永遠に生き続けていくのだと。

所在地…
 所在地… 芹川町1442番6
 地目…宅地
 面積…153・85㎡
 最低売却価格…
 695万4,020円



所在地…
 所在地… 栄町一丁目107番
 地目…宅地
 面積…233・91㎡
 最低売却価格…
 1,153万1,763円



所在地：幸町75番 地目：宅地 面積：913.70㎡
 最低売却価格：33,350,050円

一般競争入札で市有地を売却します

市公有財産管理室
 彦根市では、市有地を一般競争入札で売却します。
 一般競争入札とは、あらかじめ公表された最低売却価格以上で、最も高い価格をつけた人（法人）に売却する方法です。一定の条件を満たせば、ご参加できます。

実施案内書・参加申込用紙の配布
 期間 11月1日～同28日
 場所 市公有財産管理室（市役所4階）支所・各出張所
 彦根市ホームページからもダウンロードできます。
 参加申込の受付
 申込方法 申込書・誓約書を同室までお持ちいただくか、郵

送してください。
 期間 11月14日～同28日 必着（持参のときは、土・日曜日、祝日を除く午前8時30分～午後5時15分）
 入札日・場所
 日時 12月7日
 場所 契約監理室（市役所別館2階）
 申込書送付・問い合わせ先
 市公有財産管理室（〒522-8501）30・6114番、FAX 221398番

11月14日～25日は
 事業系粗大ごみを
 搬入できません

市清掃センター
 11月14日～同25日は、粗大ごみ処理場の補修工事のため、事業により発生した粗大ごみ、事業で使われていた粗大ごみは、搬入できません。
 なお、一般家庭からの搬入（午前9時～正午、午後1時～同4時15分）と有料個別収集は、この期間中も通常どおり受け付けます。
 問い合わせ先 市清掃センター
 施設課 24・3879番、FAX 242850番

滋賀県最低賃金は
 1時間
 657円です

滋賀県最低賃金は、常用・パートなど雇用形態を問わず、県内すべての労働者に適用されます。1人でも労働者を使用している事業主は、賃金を1時間657円以上支払う必要があります。

問い合わせ先
 彦根労働基準監督署 ☎22-0654

安全運転のポイントは
 運転の上手・下手ではありません

運転者のミスは、交通事故に直結します。交通事故を起こした人が犯したミスは、多くが「クルマに気がつかなかった」「人がいるとは思わなかった」といった状況の認識についてのミスです。「行けると思った」といった判断のミスと合わせると、95%以上になります。運動能力や運転の技術よりも、きちんと状況を認識し、正しい判断ができることが、交通事故を防ぐポイントです。

同乗者との会話や、オーディオ機器の操作は注意力が低下する原因となります。自分がどんなときに注意力が低下するか、よく見つめ直し、できるだけ原因を少なくする工夫をしましょう。

問い合わせ先
 交通対策室 30-6134、FAX 24-5211



年金相談が
 ますます便利に

10月31日から、新しい相談電話が利用できるようになりました。
 特長その1 全国统一の電話番号で、全国23か所ある年金電話相談センターのあいている回線につながるの、お話中でかけなおす必要がありません。
 特長その2 一般固定電話なら、どのセンターにつながっても市内通話料金です（電話機の種類、設定により、利用できないときがあります）

年金請求の相談 0570-05-1165
 年金をすでに受け取っている人の相談 0570-07-1165
 土・日曜日、祝日を除く8:30～17:00
 相談を受けるときには、相談者の確認のため、次のような点をお尋ねします。
 相談者が本人のとき…住所、氏名、生年月日、基礎年金番号 など
 家族が代理で相談するとき…上記のほか、家族の住所、氏名、生年月日、基礎年金番号、本人との関係、本人が直接相談できない理由 など

年金週間
 11月6日～12日

ご存じですが国民年金の
 あんなこと
 こんなこと

老後だけでなく、
 万が一の時も支えます
 「年金」と聞いても、若い人は遠い将来のことと考えてしまいがちかもしれません。しかし、年金には老後に支給される「老齢基礎年金」のほかに、不慮の病気やけがが原因で一定の障害を持ったときの「障害基礎年金」、妻と小さな子どもを残して亡くなったときの「遺族基礎年金」があります。滋賀県内でも、1

2,353人が障害基礎年金を、661人が遺族基礎年金を受け取っています（今年3月末現在）。
年金保険料の納付は忘れずに！
 年金の保険料を納めていないと、これらの年金を受け取れないことがあり、生活の支えを失うことにもなりかねません。保険料は忘れずにきちんと納めましょう。口座振替なら納め忘れ

もなく、便利でお得です。なお、経済的な理由で保険料の納付が難しいときには、申請して認められれば保険料の全額または半額が免除される「申請免除」があります。さらに、学生で保険料の納付が難しいときには「学生納付特例」が、20歳以上30歳未満の人で保険料の納付が難しいときには「若年者納付猶予」があり、申請して認められれば保険料の納付が猶予されます。

年末調整・確定申告には
 「国民年金保険料
 控除証明書」が必要

納めた国民年金の保険料は、全額「社会保険料控除」の対象になり、税額が軽減されます。控除を受けるためには、年末調整や確定申告のときに、国民年金の保険料を納めたことを証明する書類の添付が、今年から義務付けられました。

このため、社会保険庁では、今年の1月1日から9月30日までに国民年金保険料を納めた人を対象に、11月上旬に「社会保険料（国民年金保険料）控除証明書」を送付しますので、年末調整または確定申告のときまで大切に保存してください。
 口座振替を利用している人、今年4月分から8月分までの保険料を9月30日までに完納している人には、年内の納付見込み額も併せて記載される予定です。

控除証明書に記載のない分で、今年納めた保険料について控除を受けるためには、領収書の添付が必要です。
 10月1日から12月31日の間に初めて国民年金保険料を納めた人には、来年2月上旬に控除証明書が送付される予定です。

国民年金推進員が夜間・休日も訪問しています

納付期限を過ぎても国民年金の保険料を納めていない人のために、国民年金推進員がお宅を訪問しています。
 主な業務は、制度の説明、納付状況の確認と収納、口座振替の推進、免除申請の案内などです。
 訪問は、夜間や休日に行われることもあります。国民年金推進員は社会保険事務所の職員で、必ず身分証明書を携帯しているため、不審に思われたいらぜひ確認してください。



問い合わせ先
 保険料の免除制度や猶予制度について 滋賀社会保険事務局彦根事務所 国民年金業務課 23・114番
 年金給付、年金相談について 同事務所年金給付課 23・1116番
 ファクスでの問い合わせ FAX 239038番

相 談

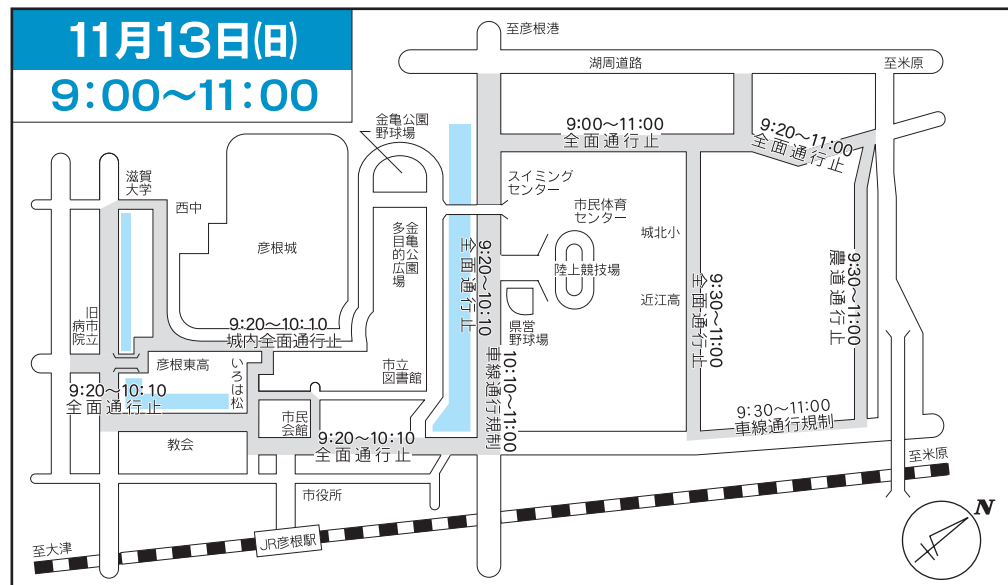
※特に記載のないときは、相談料は無料です。

相 談 名	日 時	場 所	内 容・問 い 合 わ せ 先 等
行 政 相 談	11月7日(月) 13:00~15:00	市民相談室(市役所1階)	国・県・市などに対する苦情や意見・要望に関する相談 ☎企画課☎30-6117、FAX22-1398
行政書士無料相談会 相続手続相談	11月11日(金) 13:00~15:00	市民相談室(市役所1階)	相続に関する手続き(遺言書の作成、遺産分割に関することなど)についての相談 ☎企画課☎30-6117、FAX22-1398
よ る ず 相 談	11月11日(金)・16日(木) 18日(金)・25日(金) 13:00~16:00	福祉保健センター 別館2階相談室	仕事のこと、家族のこと、地域のことなど、困りごとよろず相談 彦根市社会福祉協議会☎22-2821 FAX22-2841
人 権 相 談	11月16日(木) 13:00~15:00	稲 枝 支 所	いじめ、あらゆる差別など、人権に関する相談 ☎人権政策課☎30-6115、FAX22-1398
ス ポ ー ツ 相 談	11月16日(木) 13:30~15:00	市民体育センター	体力測定とコンピュータによる総合評価(体育館シューズを持参し、運動のできる服装でお越しください) ☎教育委員会保健体育課☎22-8871、FAX23-9190
障 害 者 相 談	11月16日(木) 13:30~15:30	障害者福祉センター	県身体障害者・知的障害者相談員による、障害のある人の自立や社会参加など様々な相談 ☎障害福祉課☎27-9981 FAX26-1767
こころの健康相談 一 般 相 談	11月17日(木) 13:30~16:30	彦 根 保 健 所 ☎22-1770	こころの健康に不安を持つ本人や家族から、困っていることや生活のようすなどを聞き、必要に応じて医学的指導、医療機関や施設の紹介などをします(予約制)
ア ル コ ー ル 相 談	11月24日(木) 14:00~16:00		アルコール依存症などの問題について、本人や家族の相談に精神科医師、保健師が応じます(予約制)
登 記 相 談 表 示 登 記	11月18日(金) 13:00~16:00	市民相談室(市役所1階)	相続・売買登記、土地の分筆・合筆、建物登記などの相談 ☎企画課☎30-6117、FAX22-1398
司 法 書 士 無 料 法 律 相 談	11月19日(土) 9:30~12:30	彦根勤労福祉会館 2階研修室	サラ金、クレジット、少額裁判関係などの法律相談 前日までに電話で予約してください 滋賀県司法書士会事務局☎077-525-1093
滋 賀 弁 護 士 会 法 律 相 談	11月25日(金) 13:00~16:00	市民相談室(市役所1階)	電話による予約制(受付は、11月16日(木)午前8:30から先着6人) 相談料:1回5,250円(相談日当日にお支払いください) ☎企画課☎30-6117、FAX22-1398(市内在住者に限ります)
男女共同参画ウィズ相談室 こころの悩み相談	11月28日(月) 13:00~16:00	男女共同参画センターウィズ (福祉保健センター前)	臨床心理士が、こころのさまざまな相談に応じます 予約制(申込は祝日を除く水・木・金曜日13:00~16:00に、ウィズ相談専用ダイヤル☎21-5757へ)
仕事、家庭、人間関係… 男女共同参画ウィズ相談室 (総合相談)	毎週水・木・金曜日 祝日を除く 13:00~16:00		女性、男性を問わず、仕事や家庭、人間関係などに関するさまざまな悩みの相談に応じます 相談専用ダイヤル☎21-5757
法 律 相 談	12月5日(月) 13:00~15:00	福祉保健センター別館	予約制(受付は、11月21日(月)午前8:30から先着4人) 相談料:1回500円(相談日当日にお支払いください) 彦根市社会福祉協議会☎22-2821(市内在住者に限ります)
職 業 相 談・紹 介	毎週月~金曜日 (祝日は除く) 8:30~17:00	ハローワーク彦根駅前 (旭町 田中ビル2階)	パート・フルタイム・年齢を問わず、どなたでも職業の相談・紹介をしています ハローワーク彦根駅前☎26-8810
女性の人権ホットライン	毎週月~金曜日 (祝日は除く) 8:30~17:00	電話による相談 (大津地方法務局)	夫・パートナーからの暴力(DV)や職場などでのセクシュアル・ハラスメント、ストーカーといった女性をめぐる各種人権問題の相談に、女性委員を中心とする人権擁護委員が応じます ☎077-522-4699(11月20日(日)10:00~17:00には臨時電話☎077-522-4766も設置)

催し物

※特に記載のないときは無料です。

行 事 名	日 時	場 所	内 容・問 い 合 わ せ 先 等
彦根きり絵研究会作品展	11月1日(火)~11月29日(火) 8:30~17:30	高宮駅コミュニティセンター (ギャラリー)	会員の切り絵作品16点程度を展示 高宮駅コミュニティセンター運営委員会☎22-1963(馬場方)
いいお産の日in滋賀2005 ~楽しもう!お産・子育て~	11月3日(木・祝) 12:00~16:30	滋賀県立大学 交流センター (八坂町)	講演:《13:30~14:30》「自然なお産にこだわるわけ-そしてそこで見たもの-」吉村 正(ただし)さん(吉村医院院長) その他、お産・育児・授乳相談、妊婦体験コーナーなど 参加費:一般500円 医療関係者1,500円 託児あり(有料・要予約) 「いいお産の日in滋賀2005」実行委員会(金森方)☎28-8667(FAX共)
ぶらっと彦根2005 「朝鮮通信使の足跡を辿る」	11月5日(土) 10:00~15:30	宗安寺(本町二丁目)とその周辺	第1部(午前)《講演》彦根・旅のテーマ「朝鮮通信使の足跡を辿る」 第2部(午後) テーマに沿った彦根の小さな旅「ぶらっと彦根」 ※第2部は参加料300円が必要 彦根景観フォーラム事務局(岡野方)☎080-1416-5968
滋賀県立大学学園祭 第11回湖風祭~花華~	11月11日(金)~13日(日)	滋 賀 県 立 大 学 (八坂町)	内 容:ファッションショー、ライブ、フリーマーケット(計270ブース)、各種模擬店、ゴミラランチャーショーなど ※湖風祭はノーマイカーを推進しています。会場へは公共交通機関をご利用ください 滋賀県立大学湖風祭実行委員会☎28-8227
湖東地域男女共同参画ひろば 女と男の笑いで コミュニケーション	11月12日(土) 10:00~12:30	多賀町B&G海洋センター	内 容:桂あやめさんの講演、家族経営協定についての朗読劇など ※手話通訳・一時保育あり(要事前連絡) ☎湖東地域振興局地域振興課☎27-2204、FAX24-0878
滋賀県皮膚科医会主催 ひふの日講演会 並びに専門医による皮膚病相談	11月13日(日) 13:00~15:00	ビバシティ彦根 2階研修室1	演 題:患者の思い、皮膚科医の思い~ありふれた病気ほど難しい 講 師:松原邦彦さん(大津赤十字病院皮膚科部長) ※講演終了後、専門医による相談会を開催 ひろた皮膚科医院☎21-1112
彦 根 朝 市	11月13日(日) 10:00~12:00 11月20日(日) 7:00~8:00	夢京橋キャッスルロード ポケットパーク いろは松駐車場	販売品:新鮮な季節の野菜、卵(いろは松駐車場のみ)、漬物など 販売者:彦根朝市組合 ☎農林水産課☎30-6118、FAX24-9676
ひこね市民活動センター 情 報 交 換 会	11月15日(火) 18:00~21:00 (毎月15日開催)	ひこね市民活動センター (金亀町)	内 容:NPO、ボランティアなどの活動をしている人、これから活動を始めてみたい人などのための情報交換の場 参加費:300円と一品持ち寄り(食べ物、飲み物) ひこね市民活動センター事務局☎24-4461 (月~土曜日の10:00~17:00)
彦根市ファミリー・サポート・センター 入 会 説 明 会	11月18日(金) 10:00~11:00 14:00~15:00	男女共同参画センターウィズ (福祉保健センター前)	必ず前日までに予約してください(電話可、託児あり) ☎ファミリー・サポート・センター☎24-3920(FAX共用) ※彦根市ファミリー・サポート・センターは、育児・介護の援助をしたい人と受けたい人が有料で助け合う会員組織です 提供会員が不足しています。登録希望の人は、ぜひご参加ください
和紙折り紙教室	11月20日(日) 13:00~	自然の布館よりーな (河原二丁目) ☎23-2035	テーマ:来年のえと「いぬ」講 師:野村和子さん 材料費:1,500円 持ち物:はさみ、定規、ポンド、竹べら 定 員:30人(先着順、あらかじめ電話でお申し込みください)
芹川ネイチャーウォッチング	11月20日(日) 9:00~12:00	多賀町・芹川上流 (8:50に 野鳥の森駐車場に集合)	内 容:芹川サイクリング 対 象:子どもから大人まで 芹川自然観察の会(平松方)☎26-0510
第22回 健康のつどい講演会	11月26日(土) 14:30~16:00	ひこね市文化プラザ メッセホール	内 容:「肥満もたらすもの」~メタボリックシンドローム~ 岡本元純(もとずみ)さん(大津赤十字病院第二内科部長) 彦根医師会☎23-3580
滋賀県立大学吹奏楽部 第8回定期演奏会 時代~人は音楽とともに~	11月27日(日) 14:00~	ひこね市文化プラザ エコーホール	曲 目:吹奏楽のための第一組曲(ホルスト)など、クラシックからポップスまで様々なジャンルの曲を演奏。映像あり、笑いあいの企画ステージも 滋賀県立大学吹奏楽部(加藤方)☎090-6571-6043



第19回彦根シニアマラソン

交通規制にご協力ください

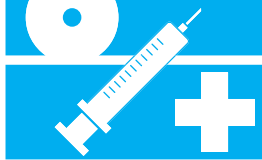
問い合わせ先 彦根シニアマラソン実行委員会事務局
(☎教育委員会保健体育課内) ☎22-8871番

新成人のつどい

日時・内容 平成18年1月9日(月・祝)
9:30~ 受付
10:30~11:30 成人式典・
祝賀記念交歓会

場 所 ひこね市文化プラザ グランドホール

対 象 昭和60年4月2日~同61年4月1日生まれの人
11月1日現在で、市内に住民登録のある新成人には、
12月中旬に案内状を送付します。1月4日になっても案内状が届かないときには連絡してください。
市外在住で、本市の「つどい」に参加を希望する人は、
11月中に下記まで連絡してください。(案内状を送付します。)
案内状をなくした人は、当日の会場受付で申し出てください。
問い合わせ先 ☎教育委員会生涯学習課
24-7971、FAX23-9190



健康管理だより

☎健康管理課
(平田町・福祉保健センター1階)
☎24-0816
FAX24-5870

ひこね元気計画21
マスコットキャラクター



予 防 接 種

—BCG接種—

対 象 ●接種当日満3か月以上満6か月未満児

実 施 日	対 象
12月14日(水)	平成17年8月31日～9月14日の出生児 上記以前の6か月未満児で未接種児
12月27日(火)	平成17年9月15日～9月27日の出生児 上記以前の6か月未満児で未接種児

受付時間 13:10～14:10
場 所 福祉保健センター
※結核予防法の改正により、平成17年4月より定期BCG予防接種は満6か月未満児が対象です。当日満3か月未満または満6か月以上になる月齢のお子さんは受けられません。満6か月以上で定期BCG予防接種が受けられなかった人は、任意接種となり有料になりますのでご注意ください。

10か月に になりました



長島朱里ちゃん
(戸賀町)



安田明彩子ちゃん
(小泉町)



澤田遠太ちゃん
(東沼波町)

ハローベビー教室

- 第1コース(助産師を囲んで)
日 時 12月5日(月)13:30～15:30
(受付は13:15～13:30)
場 所 福祉保健センター別館2階
集団検診室
対 象 妊娠16週以降の妊婦
持 ち 物 母子健康手帳
- 第2コース(歯科健診と歯みがき教室)
日 時 12月22日(木)13:30～15:30
(受付は13:15～13:30)
場 所 福祉保健センター別館2階
集団検診室
対 象 妊娠16週以降の妊婦
持 ち 物 歯ブラシ、コップ、母子健康手帳

献 血

- 成分献血—
成分献血は、血しょうや血小板といった特定の成分だけを採取し、体内で回復に時間のかかる赤血球は再び体内に戻す方法です。そのため体への負担が軽く、多くの血しょうや血小板を献血していただける特徴があります。
日 時 12月2日(金)
10:00、11:00、13:00、
14:00、15:00
(各4人ずつ、計20人)
場 所 福祉保健センター
※予約制です。11月24日(木)までに健康管理課へ申し込んでください。

脳いきいき健やか健診

- 内 容 認知症予防のための健康教室・相談、頭と体の体操、脳の老化度テスト
日 時 11月18日(金)13:30～16:30
※奇数月に実施。開催日は、該当月の広報ひこねをご覧ください。
場 所 ハピネスひこね(馬場一丁目)
対 象 65歳以上の人
定 員 10人(予約制。先着順に受け付け、定員になりしだい締め切ります。)



高齢者(65歳以上) インフルエンザ予防接種

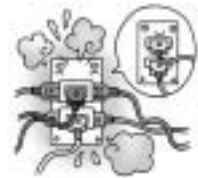
- 対 象 者 接種を希望する人で
(1)彦根市に住民登録および外国人登録のある接種当日65歳以上の人
(2)市から連絡がある人
①接種当日60歳以上65歳未満で、心臓、じん臓または呼吸器の機能により日常生活が極度に制限される障害のある人 ②ヒト免疫不全ウイルスにより日常生活がほとんど不可能な障害のある人には市から連絡します。
- 実施方法 医療機関によって予約が必要です。事前に必ず指定医療機関へお尋ねください。
- 料 金 4,000円(うち自己負担分1,000円を医療機関窓口でお支払いください。)
- 接種回数 1回接種
- 実施場所 指定医療機関(広報ひこね10月1日号17ページをご覧ください。)

- 実施(申込受付)期限 12月28日(水)
(実施日程を必ず事前にご確認ください。)
- 受けることができない人
①明らかに発熱のある人
②重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな人
③インフルエンザ予防接種に含まれる成分によって、ひどいアレルギー反応を起こしたことが明らかな人
④その他、医師が不適当な状態と判断した場合
- その他
予防接種を受けてからインフルエンザに対する抵抗力がつくまでに約2週間程度かかり効果の持続期間は約5か月と言われています。インフルエンザの流行する前までに受けておくことをおすすめします。
なお、寝たきりなどのやむを得ない事情により指定医療機関での接種が困難な場合は、事前に健康管理課にお問い合わせください。

秋の火災予防運動 11月9日～15日

火の用心 7つのポイント

ストーブ 燃えるものを近づけたり、消火せずに給油していませんか?
たばこ 投げ捨て、寝たばこは厳禁。「消したはず」にご注意を
コンロ 火をつけたまま その場を離れていませんか?



電気器具 たこ足配線、プラグの綿ぼこりから出火することも

放火 放火しにくい環境づくりを。家の周りに燃えやすいものを置いていませんか?
火遊び 子どもはマッチ、ライターにさわりたいもの。きちんと管理しましょう
たき火 風の強い日にしていませんか
問い合わせ先 消防本部予防課 22-0332

あなたです 火のあるくらしの見はり役

市民・ボランティア・NPOの出会いと学びと体験の場

おうみ市民活動フォーラム2005

日時 11月19日 10:00～16:30 20日 10:00～15:00
場所 ひこね市文化プラザ ほか

- 県内の市民活動団体が彦根に集合。里山、古民家、アフガニスタン、対人地雷、ヴォーリス、ひきこもり回復など、さまざまな領域の関心に応えます。家族で楽しめるイベントもあります。
- 内容
▶5時間徹底討論「協働のアリーナをどうつくるのか～NPO・企業・行政の立場から～」(19日10:00～15:30)
要事前申込 要資料代500円
▶市民活動屋台村
活動紹介ブースとステージ発表(合計約70団体)
▶その他、体験コーナー、懐かしの縁日コーナーなど
問い合わせ先 同フォーラム実行委員会(淡海ネットワークセンター内) 077-524-8440、FAX077-524-8442



動く図書館 たちばな号

巡回日程【11月後半】 市立図書館 ☎22-0649 FAX26-0300

日・曜日	駐 車 場	時 間
15日	J A 東びわこ種子センター 滋賀観光バス彦根営業所 オーミ緑化造園	13:20 14:10 15:00
16日	西清崎町浄宗寺 亀山ニュータウン 日夏ニュータウン第2期集会所前	13:30 14:20 15:10
17日	開出今町菅原神社 蔵の町団地中央部 開出今第2団地(市立病院前)	13:20 14:10 15:00
18日	平田町大沢高岸B公園 西今町松田団地 西今町伊庭団地 若葉小学校	11:00 13:20 14:10 15:00
19日	稲里町公民館 稲枝地区公民館前 稲枝駅	13:30 14:20 15:10
22日	千鳥ヶ丘会館 岡町東光寺前 平田町明照寺前	13:15 14:00 14:50
25日	大藪町農業倉庫 下後三条説教場 中藪一丁目白山神社	13:20 14:10 15:00
29日	新海町公民館 田附町公民館 本庄町公民館	13:30 14:20 15:10
30日	普光寺町東ノ辻広場 彦富町公民館 金沢町公民館 港屋駐車場東	11:00 13:10 14:00 14:50

駐車場での駐車時間は、30～40分間です。

図書館休館日	21日(月)、23日(水・祝)
11月後半	24日(木)、28日(月)

し尿収集予定日 11月後半

彦根市事業公社 ☎23-4135 FAX23-4134

臨時の収集については、早めにお申し込みください。(臨時の収集は、原則として毎週火・金曜日に実施します。)
収集の状況によって、収集日は3日程度前後することがありますが、ご了承ください。収集のときは、バケツ1杯の水をご用意ください。



- 15日 日夏、亀山地区、稲枝(西)、肥田(西肥田を除く)、上稲葉、下稲葉、本庄、普光寺、薩摩、金沢(金沢団地)
- 16日 日夏、亀山地区、稲枝(東)、稲部(稲部東)、野良田、田附、新海、南三ツ谷、甲崎、肥田(西肥田)
- 17日 日夏、鳥居本地区、亀山地区、柳川、上西川、下西川、上石寺、下石寺、稲部(稲部)、稲里、肥田(西肥田)、金沢
- 18日 岡、西沼波(東部を除く)、東沼波、大堀、大橋、元岡、沼波、日夏、鳥居本地区、亀山地区、稲部(稲部南)、金沢
- 21日 東沼波、大堀、錦(第2・3部)、河原一丁目、河原二丁目、河原三丁目、鳥居本地区、河瀬地区、彦富、稲部(稲部南)
- 22日 古沢、松原(四ツ川を除く)、鳥居本地区、高宮地区、河瀬地区、金田、上岡部、下岡部、彦富
- 24日 高宮地区、河瀬地区、亀山地区、彦富(笹田団地)
- 25日 高宮地区、河瀬地区、亀山地区
- 28日 高宮地区、河瀬地区
- 29日 高宮地区、河瀬地区
- 30日 幸、松原一丁目、松原二丁目、松原(四ツ川)、野田山、正法寺、地藏、原(原西団地)、西沼波(東部)、本町一丁目、本町二丁目、本町三丁目、銀座、中央(第1・4部)、芹橋一丁目、芹橋二丁目(河原二丁目の一部を含む)、三津

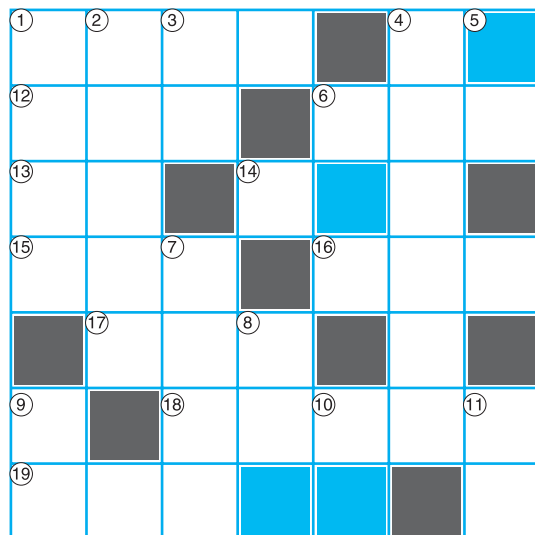
この「広報ひこね」は41,400部作成し、1部当たりの単価は12円(1円未満切り捨て)です。ただし、原稿作成・編集などにかかる職員の人件費は含まれていません。



クロスワードクイズ

問題 下の「かぎ」を参考に右のマス目を埋めてください。■の4文字を並べ替えてできる言葉は何でしょう。

ヒント：
難しいのは意志が弱いからでなく、ニコチンのせいです



ヨコのかぎ

- 1 秋になって木の葉が赤くなること
- 4 秋の果物。甘いのと渋いのがあります
- 6 英語で青のこと
- 12 静岡県の中央部の昔の地名。の国
- 13 入学試験の練習で受けます
- 14 ヤゴの親
- 15 裁縫で、留め結びをせずに運針の練習をすること
- 16 アメリカの北にある、カエデが国旗にデザインされている国
- 17 プラトンは古代ギリシャの哲学者
- 18 グラムの千倍
- 19 縁側で、建物や部屋のまわりにめぐらしてあるものをこう言います

- 5 かぎ
- 1 秋に咲く桜？
- 2 彦根仏壇7つの工程の一つ。木地をくり返し塗装します
- 3 インド4,000年の歴史。瞑想しながらポーズをきめます
- 4 「炭焼き風」の意。ベーコン、卵、チーズ、黒こしょうでつくるスパゲツ
- 5 かぎ
- 6 11月3日はの日
- 7 場所は石を切り出すところ
- 8 葉が厚く、縁にとげのあるユリ科の多年草。「医者いらず」ともいいます
- 9 アンデスで荷物を運んでいる、ラクダ科のほ乳類
- 10 市町村合併で少なくなりました
- 11 けがれなく純真なこと

タテのかぎ

応募のきまり はがきに クイズの答え【 】住所、氏名、「広報ひこね」の記事に取り上げてほしい内容、「広報ひこね」の記事でよく読むもの、その他「広報ひこね」に対するご意見・ご感想などを書いて、**情報政策課**(〒522-8501)へ送ってください。E-mail: koho@ma.city.hikone.shiga.jpでも受け付けます。
応募期限 11月30日 (当日の消印有効)
正解者の中から、抽選で30人に図書券を差し上げます。当選者の発表は、賞品の発送をもってかえます。住所・名前などの個人情報は、当選者への賞品の発送以外には使用しません。

人口と世帯数
平成17年10月1日現在

人口	110,245人 (+106)
男	54,124人 (+60)
女	56,121人 (+46)
世帯数	40,584世帯(+99)

()内は前月との比較



2005 国勢調査

ただいま集計中です

国勢調査にご協力いただきありがとうございました。集計された調査結果は、国・県・市の行政資料として使われるほか、ホームページなどを通じて幅広く活用されます。問い合わせ先 **企画課** ☎30-6101、FAX22-1398